

議会改革推進会議 報告書

令和6年6月

知名町議会改革推進会議

目次

1. 議長あいさつ
2. 知名町議会の活動
3. 議会改革の取り組み
4. 地方議会成熟度評価モデル結果
5. 政策提言
6. 議会改革アドバイザー 青森大学 佐藤淳教授のコメント
7. 次期への引き継ぎ事項
8. おわりに

1. 議長あいさつ

知名町議会では議論の質を高め、町民から信頼され、町民の付託に応える議会を目指し、令和4年4月に議会改革推進会議を設置しました。青森大学の佐藤淳教授や公益財団法人日本生産性本部のご協力を頂きながら、議会改革に取り組んで参りました。

議会改革の方針として、町民意見を基にした政策サイクルによる議会運営を目指しており、日本生産性本部の「地方議会成熟度評価モデル」を活用し、議会が抱える課題を明確にした上で、議員の資質向上と議員間の合意形成を目的にしたオンラインによる研修会や意見交換を積極的に取り入れてきました。

また町民意見を起点とした政策提言の取り組みでは、町民とのワールドカフェを開催し、意見集約に努め、課題の整理を行ってまいりました。その上で各常任委員会において政策課題を決定し、課題に基づいた島内外における所管事務調査や対象者、関係機関との意見交換を行い、議員間討議を経て、政策提言書を作成しました。任期最終となる令和6年6月議会における提出、決議を予定しています。

人口減少や少子高齢化など、社会情勢は急激に変化しており、議会の果たすべき役割は大きくなっています。その変化に対応し、役割を果たすためにも議会は常に変革していかなければなりません。政策サイクルによる議会改革をこれからも継続していくために報告書を作成し、引き継いで参ります。

知名町議会議長 福井源乃介

2. 知名町議会の活動

知名町議会は、年間を通じて町民との対話を重視し、意見を反映できる議会運営を目指し、活動を行っています。これからも、持続可能な島づくりを目指して積極的な活動を展開しています。

	行事	議会	出張	備考
4月	転入教職員宣誓式・教育行政説明会	全員協議会		各月必要に応じて全員協議会・常任委員会・議会改革推進会議を開催
	公民館講座開講式	議会勉強会		
	沖泊海浜公園ボランティア清掃作業			
	知名町コミュニティづくり推進協議会総会 小・中学校入学式			
5月		全員協議会	奄美群島市町村議員大会	
		議会勉強会	議員研修会	
6月	議員と語る会	定例会		
		全員協議会		
		議会運営委員会		
		提出議案説明会		
7月		議会改革推進会議		
		全員協議会		
		上下水道運営委員会		
8月		議会勉強会		
	ふるさと夏まつり 昇竜洞安全祈願祭	全員協議会	議員研修会	
	ふるさと夏まつり 前夜祭	市町村政研修会	所管事務調査	
	ふるさと夏まつり くり船競争	議会勉強会		
9月	ふるさと夏まつり 本祭			
	小中学校体育祭	全員協議会		
		定例会		
		議会運営委員会		
10月		提出議案説明会		
	町民体育大会	全員協議会		
		議会勉強会		
11月	生涯学習フェスティバル	全員協議会		
	学校訪問	常任委員会所管事務調査		
		議会勉強会		
12月		全員協議会		
		定例会		
		議会運営委員会		
		提出議案説明会		
1月	町内一周駅伝	全員協議会	議員研修会	
	20歳のつどい	議会勉強会	所管事務調査	
2月		全員協議会		
		議会勉強会		
3月	小・中学校卒業式	全員協議会		
	知名町学校管理職等送別会	定例会		
		議会運営委員会		
		提出議案説明会		

3. 議会改革の取り組みの経過

知名町議会における議会改革の取り組みは、令和2年の議員改選により比較的若く、経験の浅い議員が議会の大勢を占める状況となったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、それまで行われていた議員研修や議員間での意見交換の場が失われたことで、合議体としての議会の機能低下が懸念されたことに端を発します。

このような状況に対処し、町政の課題に議会として一体感を持って取り組むためには、議会自らがこれまでの常識に捉われず、常に変革していかなければならないという信念のもと、議会改革の推進が全員協議会で確認され、取り組みがスタートしました。

主な実施内容は次のとおりです。

1. 議会改革推進会議の設置
 - ・議会改革推進会議を設置し、定期的に議会改革の進捗を確認・評価する仕組みを構築しました。
2. 議会の現状把握と課題抽出
 - ・現状把握のために地方議会成熟度評価モデルを活用し、議会の強みと弱みを明確化し、課題を抽出しました。
3. 政策サイクルの実現
 - ・議会からの政策提言を強化するために、政策サイクルの重要性を認識し、その実現に向けた取り組みを進めました。
4. 町民との対話と意見聴取
 - ・町民意見の聴取を重視し、住民との対話を促進するために、ワールドカフェなどを活用し、各種団体との意見交換会を開催しました。
5. 議会基本条例に基づく議会運営の遵守
 - ・議会基本条例に基づいた議会運営を遵守し、持続的な議会改革を推進しました。
6. 議員の能力向上とファシリテーション技法の習得
 - ・議員の能力向上を図るため、議会アドバイザーを活用し、研修やファシリテーション技法の習得に努めました。
7. 委員会活動の活発化
 - ・委員会活動を活発化させ、議会としての政策作りを強化しました。
8. 議会改革の継続
 - ・議会改革の継続的な評価と改善策の提案を行い、進展を図りました。

議会改革の歩み

令和	月	日	項目	内容・目的	出席者	備考
令和元年	12	12	全員協議会	議会改革推進会議設置の提案	全議員	
令和3年	3	15	全員協議会	議会改革推進会議設置の提案	全議員	
	8	20	地方議会評価モデルについての説明会	地方議会評価モデル勉強会	日本生産性本部	
	8		議会評価モデルによる評価の実施	議会の現状把握	知名町議会	
	10	6	議員間討議と対話について	対話の演習	青森大学佐藤教授	Zoom を使ったオンラインでの勉強会
			地方議会評価モデル結果の報告	議会の現状把握と課題の抽出	日本生産性本部	議会が目指すべき理想の姿について
	11	16	政策サイクルについての勉強会	議会からの政策サイクルの意義と動向	大正大学江藤教授	住民自治の根幹としての議会の作動について
			議会運営	理想の議会像の構想と実現に向けて	日本生産性本部	
	1～2		商工会青年部・女性部、女性連絡協議会との意見交換	町民意見の聴取と住民との対話の演習		団体との意見交換会
令和4年	4		議会改革推進会議の立ち上げ	議会基本条例に基づき議会改革に継続的に取り組むため		要綱の制定、予算要求に向けた協議
	5	27～28	議会改革キックオフミーティング	議会改革の取り組みを再認識すると共に対外的なPRを行う		
			議員勉強会	議会基本条例の確認と現状の振り返り、議会改革の必要性、ファシリテーション技法の習得	佐藤教授	進むべき方向性の確認とワールドカフェの演習
			町民との意見交換会(ワールドカフェ)	未来の知名町について構想し、取り組みたい町の総合振興計画のアクションプランを選定する	日本生産性本部	商工会青年部、JA 青壮年部、行政若手職員
					佐藤教授	
			議会改革推進会議メンバーとの意見交換	今後の取り組みについて意見交換	佐藤教授	
	11	11	議会勉強会	委員会活動を通じた議会による政策作りに向けて	日本生産性本部	各分科会
令和5年	5	13	課題選定に係る勉強会	政策提言にむけた課題抽出について	日本生産性本部	経済建設常任委員会
	5	29	政策サイクル推進地方議会フォーラム出席	事例発表	議会改革推進会議委員長	東京町村会館
	6	21	議会アドバイザーに関する打ち合わせ	議会アドバイザー委嘱に関する事務打ち合わせ	議長、議会改革推進会議委員長、両常任委員長、議会事務局長、生産性本部	オンライン
	6	21	議会勉強会	議会としての政策作りに関する事例紹介	日本生産性本部	オンライン

	6	29	議会改革推進会議	議会課題について検討会	議会改革推進会議、佐藤教授、生産性本部	オンライン
	7	13	議会改革推進会議勉強会	議員報酬・定数・政務活動費について	全議員	全国町村議長会資料による認識の共有
	8	1	佐藤先生来訪に係る事務打ち合わせ	来訪時のスケジュール確認、その他	佐藤教授、議会改革推進会議委員長、議会事務局長	オンライン
	10	19	議会改革推進会議	まちづくりワークショップ研修会(町民)政策サイクルの仕上げ方(議員)	佐藤教授	商工会館、議会委員会室
		20	議会改革推進会議	議会と町民との意見交換会(両分科会)議会改革推進会議(振り返りと今後の進め方について)	佐藤教授	あしびの郷(ホワイエ)、議会委員会室
	12	5	議会改革推進会議、所管事務調査報告	議会改革推進会議の報告、所管事務調査の報告会	全議員	議会委員会室
令和6年	2	26	地方議会成熟度評価モデル説明会および実施	地方議会成熟度評価モデルの追加項目および実施に向けた説明	全議員 日本生産性本部	議会委員会室
	3	22	地方議会成熟度評価モデル結果確認	地方議会成熟度評価モデルの結果確認	全議員 日本生産性本部	議会委員会室
	4	25	議会改革に関する打ち合わせ	改選に向けた引き継ぎ事項の整理について	佐藤教授、日本生産性本部、議会改革推進会議委員長、両常任委員長	オンライン
	5	20	議会改革推進会議	改選に向けた引き継ぎ事項の検討・確認	議会改革推進会議委員	
	5	20	全員協議会	改選に向けた引き継ぎ事項の確認	全議員	
	6	4	政策提言書の採択	農林課との協議および分科会での採択	経済建設委員会	
	6	5	政策提言書の採択	分科会による最終確認および採択	総務文教分科会	
	6	20	政策提言書の提出・決議	6月議会での提出と決議	全議員	

*政策提言の歩みは、政策提言の章に掲載

4. 地方議会成熟度評価モデルの結果

「地方議会成熟度評価モデル」は政策サイクルを基準に議会運営の状態を判断する項目を3段階で評価し集計した上で、議員間討議を通じて今後の議会運営の改善点を導くシステムとなっています。知名町議会では令和3年度と令和5年度に地方議会成熟度評価モデルを実施したところです。以下の結果は令和5年度実施の結果となりますが、全体集計結果では前回の結果と比較しています。2年間の議会活動を通じての変化が確認できます。

評価項目は議会運営のさまざまな側面を包括的にカバーしており、政策立案や住民との対話、内部統制や資源管理など、議会の機能全体を評価対象としています。

今回の結果からは、「法令等遵守」が最も高く評価され、次いで「課題の明確化」、「住民との対話」、「政策立案・提言、議案審査」が続きました。一方、「内部資源と外部連携の活用」の不足が指摘され、「主権者教育と選挙の充実」、「危機管理」がそれに続きました。

前回の評価と比較すると、「能力向上」と「体制づくりと活動基盤整備」を除き、全ての項目で改善が見られました。特に、法令等遵守では33.3%が最高評価を得ており、課題の明確化も25.0%の高評価を得ています。

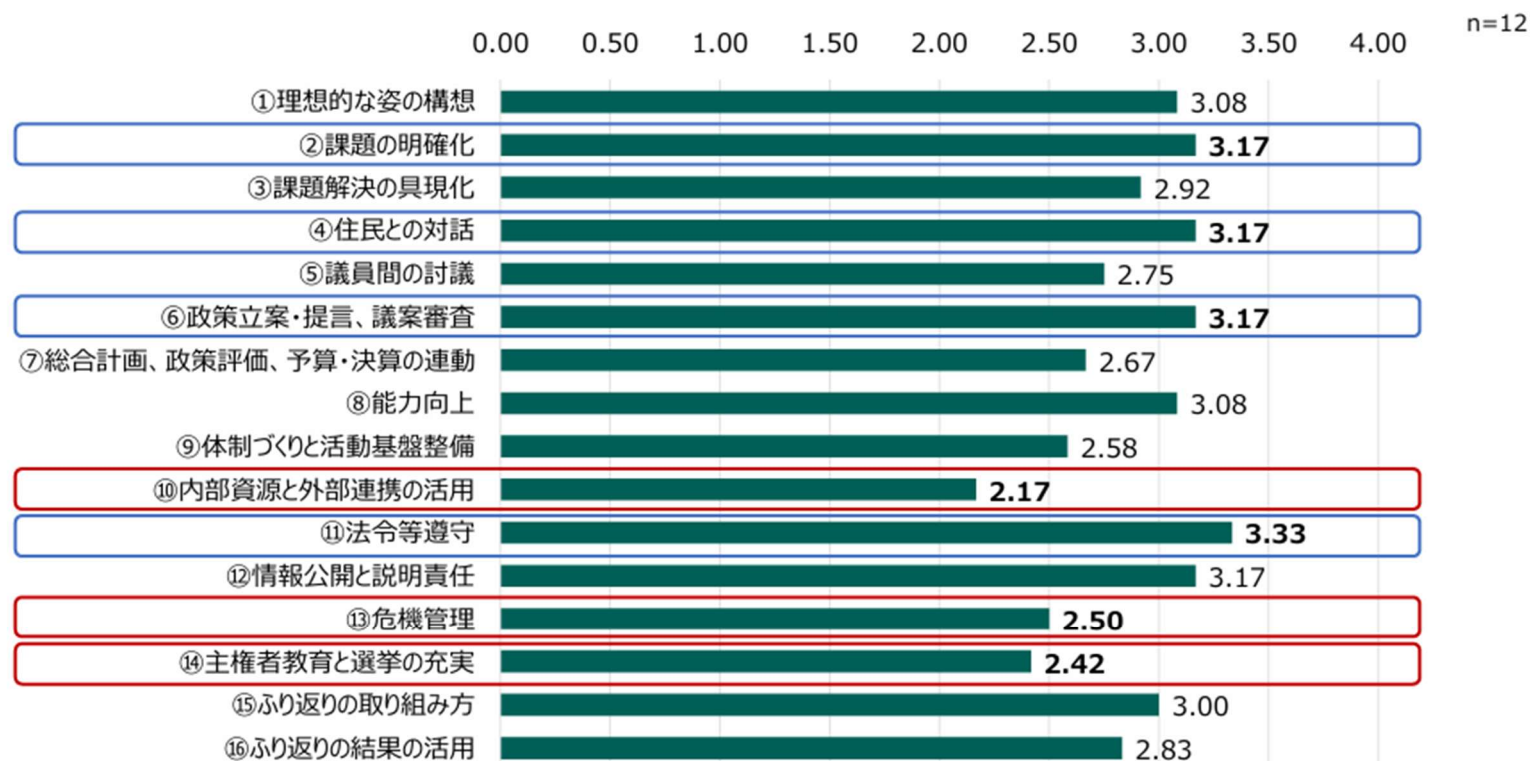
しかし、危機管理や主権者教育と選挙の充実に関しては、評価が低く、これらの分野での改善が必要とされています。

この評価を通じて、知名町議会は今後も持続的な改善を目指し、住民の期待に応えるための議会運営を推進してまいります。

なお、グラフの出所は公益財団法人日本生産性本部 地方議会改革プロジェクト提供資料です。

全体集計結果① 項目別の平均点数

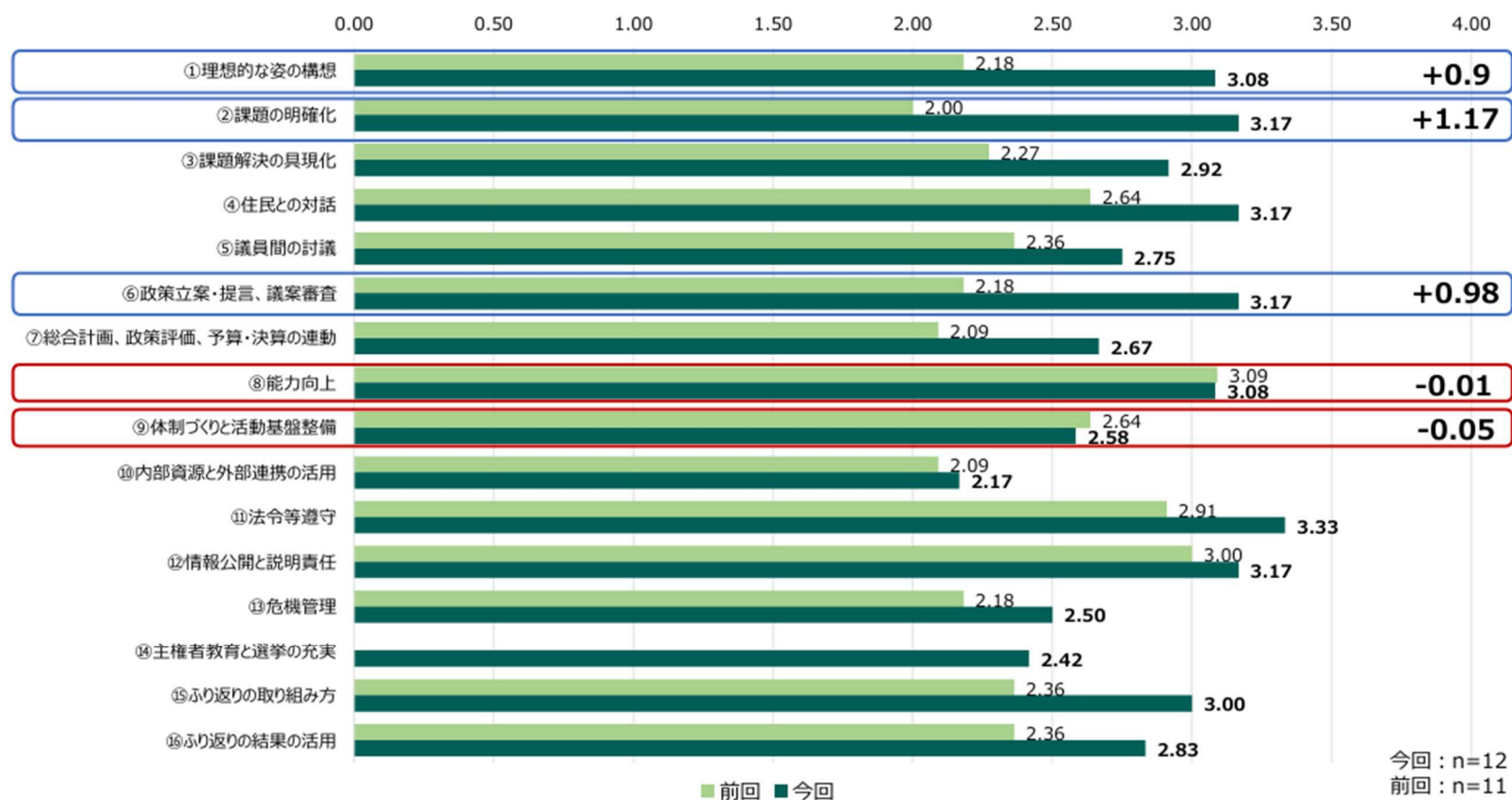
- 「⑪法令等遵守」が最も高く（3.33）、「②課題の明確化」・「④住民との対話」・「⑥政策立案・提言、議案審査」が同位で続いた（3.17）。
- 「⑩内部資源と外部連携の活用」が最も低く（2.17）、「⑭主権者教育と選挙の充実」（2.42）、「⑬危機管理」（2.50）と続いた。



◎を4点、○を3点、△を2点、－を1点、無回答を0点に点数化して集計した。

全体集計結果② 前回の結果との比較

- 「⑧能力向上」(-0.01)、「⑨体制づくりと活動基盤整備」(-0.05)を除くすべての項目で前回の結果を上回る結果となった。

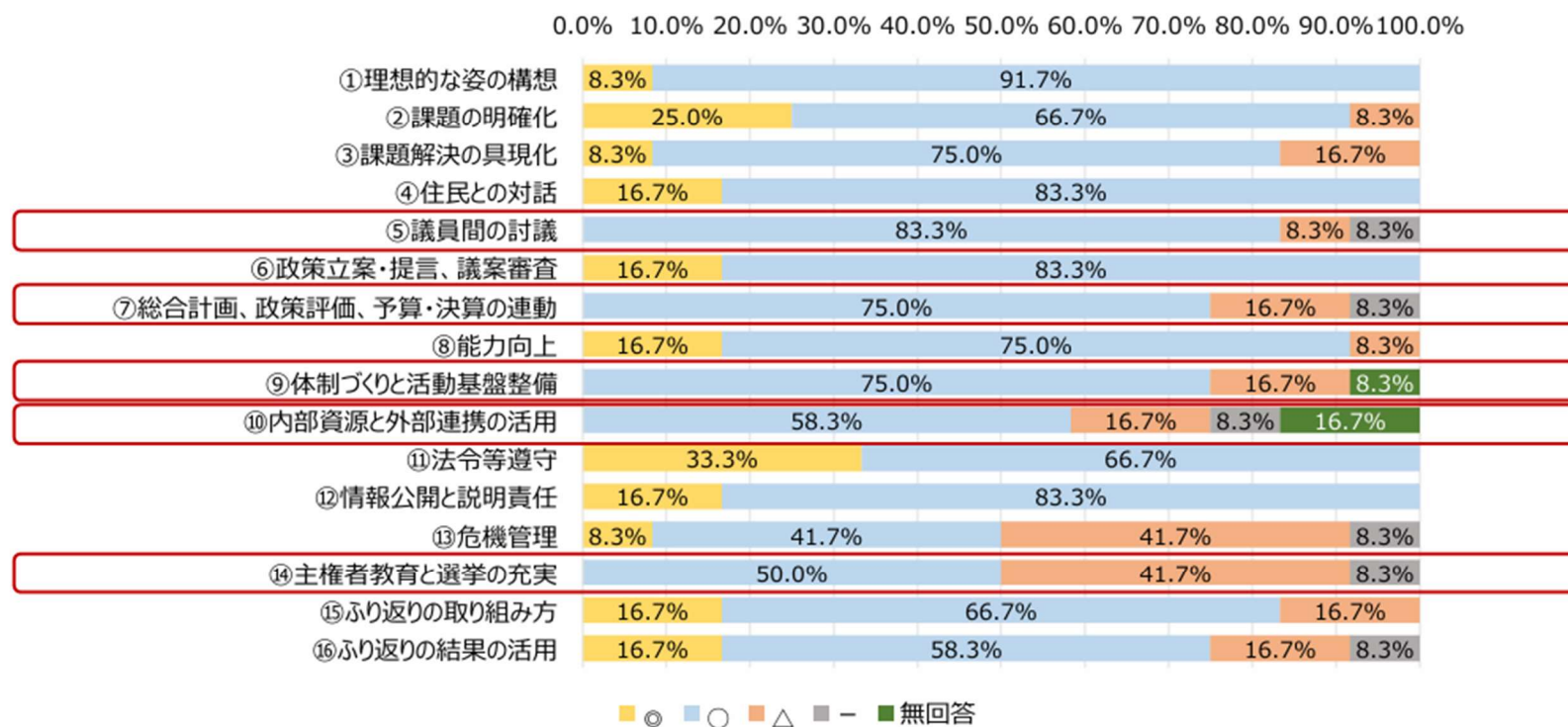


※前回の調査結果については、◎を4点、○を3点、△を2点、無回答を0点に点数化して集計した（－は選択肢としてしていないため点数化していない）。

全体集計結果③ 項目別の回答割合

- ◎の割合が高いのは、「⑪法令等遵守」(33.3%)、「②課題の明確化」(25.0%) など。
- △の割合が高いのは「⑬危機管理」(41.7%)、「⑭主権者教育と選挙の充実」など。
- 「⑤議員間の討議」、「⑦総合計画、政策評価、予算・決算の連動」、「⑨体制づくりと活動基盤整備」、「⑩内部資源と外部連携の活用」、「⑭主権や教育と選挙の充実」では、◎の回答が無く、－や無回答が見られた。

n=12



地方議会成熟度評価モデルを実施した議員の自由記述から

① 認識の観点から

- ・議員全体で共通認識が明確化され課題解決に向けて取り組んでいる。
- ・ 共通の認識はできてきたがまだ時間がたりずに浸透していない
- ・ 議員としての立場や考え方が違うが、議会改革を進める中で認識はしてきていると思う。会を重ねるほど浸透すると思う。
- ・ 住民の声を議員間共通認識し討議することにより開かれた議会を得る事が出来ると思いますが未だに浸透に至っていないと思います。
- ・ 議会改革の取り組みを進める中で、議員としての活動と議会活動の違い、また議会活動の必要性についての認識は広まりつつある。今後、取り組みを進める中でさらにその認識が浸透していくことに期待。
- ・ 新しい事に意欲をもって一体感を持って取り組んでいる

② 方法の観点から

- ・ 方法の観点から継続性のある制度や仕組みの形にしていきたい。
- ・ 議会改革推進会議、分科会など今までの議会にない取組が出来たと思う。今回初めての取組であるので計画的に進まないこともあったので、今後の計画、役割などを見直す必要がある。
- ・ ファーストトライアルなので、試行錯誤という感じです。今後整えて行ければと思います。
- ・ 継続性のある制度や仕組みになって来ている。
- ・ 政策立案をし、それに向かって取り組んでいる進行形ではないかと思っています。
- ・ まだ不足だと感じている。まだ試行錯誤の段階だと思う。
- ・ 議会改革推進会議や政策サイクルを動かす分科会(常任委員会)の設置など、議会の新しい仕組みづくりが行われた。今後はそれぞれが取り扱う課題の整理や課題解決に向けたスケジュール作成、役割分担など、継続的に議会運営、議会活動の改善、見直しができる体制の整備が必要だと思う。
- ・ これまでの流れを精査して改選後に形成される

③ 結果の観点から

- ・ 議会改革を目指しているが、1年、2年くらいではまだ実感なし。
- ・ 政策提言に向けて議員全体での活動ができており、議会改革に取り組む前より、議会全体が成長したと思います。

- ・ 成果は次任期になると思われる。
- ・ 結果の観点から成果や課題を明確化し継続的な仕組みの形にしていきたい。
- ・ 成果や課題については、多少ではあるが、進めることが出来たと思う。今後も勉強会などを積極的に開催し課題解決に向けた活動が必要。
- ・ 結果の観点はまだ結果に至ない為、まだ判断出来ない。
- ・ 未だに成果も不十分であると認識しており課題も多いと思います。
- ・ まだハッキリ見えて来ない。
- ・ 議会評価モデルで浮き彫りとなった課題について、全てではないが取り組みを進めることができたと思う。今後は今回の評価モデルの結果をもとに、4年間の任期を見据えた取り組み方、課題解決に向けた勉強会、検討会の開催など、課題の解決という目的に向けた議会活動の在り方を検討、実施できればと思う。

④ 全体を通じての所感や疑問点など

- ・ 議会全体での活動が町民に見えるような形に近づいてきている。政策提言において国の施策に基づいた提言ではなく本町独自の政策提言ができるためにはどうすればいいのか考えていく必要がある。
- ・ 評価モデル導入により明らかにレベルアップしている。次任期でのさらなる改善も実現可能である。
- ・ 大変いい時期に対話で住民福祉の向上を実現する地方議会成熟度評価モデルで今後とも成果や課題が明確化と制度と仕組みを進めていきます
- ・ 議会改革、分科会など初めての取組であり、知名町議会の新しい体制が出来たと思う。本来あるべき姿なのかなと思う。議員の認識や議会活動の充実が行われた。
- ・ 気負わず且つ真摯に取り組む的な感覚では進行しているのかなと思います。
- ・ まだまだ議会改革途中のため、所感言えません。
- ・ 新しい議会を作るこの3年間の取組の中で、着実に議会活動の充実、改善が行われてきたと思います。今後は今回の議会評価モデルの結果を踏まえ、更なる議会活動の充実、発展に繋がるよう、改選後の議会に向けた申し送り、提言となる報告書を作成し、議会改革が継続的な活動になることを期待します。
- ・ 議会活動という意識も生まれつつある

5. 政策提言の経緯

町の課題解決(政策サイクル)に向け、各常任委員会を分科会と位置づけ、町民との意見交換で得られた結果を総合振興計画のアクションプランに落とし込んだ上で課題を選定し、任期最終となる 2024 年 6 月議会で政策提言を行うことを目標に取り組みを進めてきました。

政策提言の歩み

令和	月	日	項目	内容・目的	出席者	備考
令和 4 年	10	22	島内視察調査	島内視察による課題検討	経済建設分科会	堆肥センター、花卉農協、有機栽培
	11	11	議会勉強会	委員会活動を通じた議会による政策作りに向けて	日本生産性本部	各分科会
令和 5 年	5	13	課題選定に係る勉強会	政策提言にむけた課題抽出について	日本生産性本部	経済建設常任委員会
	6	21	議会勉強会	議会としての政策作りに関する事例紹介	日本生産性本部	オンライン
	6	29	議会改革推進会議	議会課題について検討会	議会改革推進会議、佐藤教授、生産性本部	オンライン
	7	18	両分科会	所管課の事業説明および意見交換会・自由討議	全議員	
	7	20	課題選定に向けた調査	対象年齢の絞り込むに向けたアンケート実施	総務文教分科会	議長室
	7	23	課題対象の決定	未就学児(保護者含む)支援に決定	総務文教分科会	議長室
	8	1	事務打ち合わせ	来訪時のスケジュール確認、その他	佐藤教授、議会改革推進会議委員長、議会事務局長	オンライン
	8	28	課題内容の検討	情報共有・所管事務調査先の選定	総務文教分科会	対面およびLINE

	9	27	経済建設 常任委員 会ヒアリ ング	4HC、兼業農 家、I ターン農 家との意見交換 会	経済建設分 科会	対面
	10	19	議会改革 推進会議	まちづくりワー クショップ研修 会(町民)・政策 サイクルの仕上 げ方(議員)	佐藤教授・ 全議員	商工会館、議 会委員会室
	10	20	議会改革 推進会議	議会と町民との 意見交換会(両 分科会) 議会改革推進 会議(振り返りと 今後の進め方につ いて)	佐藤教授・ 全議員	あしびの郷 (ホワイエ)、 議会委員会室
	10	26	課題の共 有・集約	ワークショップ の意見集約・共 有	総務文教分 科会	議長室
	11	7~10	所管事務 調査	経済建設委員会 (南さつま市、 指宿市) 総務文教委員会 (熊本県天草 市)	全議員	
	12	5	所管事務 調査報告	所管事務調査の 報告会・意見集 約	全議員	議会委員会室
令和6 年	1	25	所管事務 調査	所管事務調査 (鹿屋市)	経済建設分 科会	農業未来バン クに関わる所 管事務調査
	2	16	政策提言 に向けた 協議	政策提言の進め 方についての協 議	各分科会	
	2	26	政策提言 に向けた 協議	新規就農支援の 課題の整理	経済建設分 科会	議会委員会室
	3	27	政策提言 に向けた 協議	新規就農支援の 課題の整理	経済建設分 科会	議会委員会室
	4	18	政策提言 に向けた 協議	新規就農者支援 (農地確保につ いて)	経済建設分 科会	議会委員会室

	4	25	政策提言 書作成に 向けた 打ち合 わせ	政策提言書作成 に向けた打ち合 わせ	佐藤教授、 生産性本 部、議会改 革推進会議 委員長、両 常任委員 長、議会事 務局	オンライン
	5	7	政策提言 に向けた 協議	新規就農者支援 (機械、情報に ついて)	経済建設分 科会	議会委員会室
	5	20	政策提言 に向けた 協議	部署の集約状況 の確認・提言書 作成	総務文教分 科会	議長室
	5	20	政策提言 書の作成	政策提言書の確 認、修正につい て	経済建設分 科会	議会委員会室
	6	4	農林課と の協議	政策提言書の説 明・協議	経済建設分 科会	庁舎大会議室
	6	4	政策提言 書の採択	分科会による採 択	経済建設分 科会	
	6	5	政策提言 書の採択	提言書の確認・ 採択	総務文教分 科会	
	6	20	政策提言 書の提 出・決議	政策提言書提出 と決議	本会議	議場

6. 議会改革アドバイザーのコメント

1. 青森大学社会学部 佐藤淳教授

私が知名町議会と関わるきっかけになったのは、日本生産性本部の紹介で、令和3年10月、オンラインで研修会をさせて頂いたことである。その際、「議員間討議と対話」というテーマで、『議会基本条例』（以下、基本条例）に書かれていたが、これまで実施されていなかった「議員間討議」について講義をして、実際に「対話」による「議員間討議」を体験してもらった。その後、令和4年4月、これも基本条例に規定されていたものの、設置されていなかった「議会改革推進会議」が設置されたことが、今任期の知名町議会の改革の取り組みは始まったと思う。

令和4年5月、初めて知名町を訪問させて頂いた。「議会基本条例の原点に立ち戻ろう」のテーマで講義とワークショップを行い、基本条例の条文通りに出来ているか、出来ていないかを「対話」してもらい、これまで知名町議会では、政策提言が全く出来ていないことに気付いてもらった。また、ワールドカフェ形式による町民との意見交換会に初めて挑戦して、「20年後の知名町の未来」について町民の方々から意見を頂き、常任委員会が政策提言に向けて所管事務調査を行うテーマの候補を抽出した。その後、総務文教常任委員会は「未就学児支援」、建設経済常任委員会は「新規就農者支援」をテーマに、任期中の政策提言に向けた「政策サイクル」の取り組みがスタートした。

令和5年10月、二度目の知名町訪問に際しては、両常任委員会の所管事務調査のテーマに関連する町民に集まってもらい、「対話」の補助ツール「SOUNDカード」を使って、意見交換を行い、各テーマの現状について深く掘り下げた。それを受けて、従来行われていなかった、各常任委員会のテーマに基く、庁内視察、先進地視察、その結果をもとにした「議員間討議」が積み上げられ、令和6年6月、両常任委員会が執行部への提言書をまとめ上げた。

そもそも、全国の市町村議会を見ても、「政策サイクル」を回し政策提言を行う議会が少ない中、今任期、積極的に「政策サイクル」の取り組みに挑戦し、成果をまとめあげたことは高く評価出来る。また、「議会改革推進会議」が中心となり、本報告書の作成を通して、今任期の議会活動を振り返り、次任期への引き継ぎ事項をまとめ、議会改革の継続性を担保しようとしていることも、町村レベルでは、先進的な取り組みである。

議会改革アドバイザーとして次任期の知名町議会に期待することは、次任期の引き継ぎ事項の中にも触れられている、今回の政策提言のフォローと、調査研究活動と提言の質の向上である。政策提言は、実現しなければ町民福祉の向上につながらず、議会の自己満足に終わる。今後の予算・決算の審査を通して、提言内容のフォ

ローが必要だ。また、今回の「政策サイクル」の取り組みは、試行錯誤で行ったこともあり、調査研究の手法、提言の内容には改善の余地がまだまだある。「政策サイクル」を回す上での駆動力になる「議員間討議」のレベルアップも必要だ。引き続き、知名町民の住民福祉の向上の為、議会改革を継続し続ける、知名町議会であって欲しい。

令和6年6月10日

青森大学社会学部 教授

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤 淳

7. 次期への引継ぎ事項

議会評価モデルから始まった議会改革において、住民意見を起点とした地域課題を政策提言に繋げる、政策サイクルの構築を意識した取り組みを進めてきました。この取り組みを継続的に推進していくために以下の項目について次期任期の議会に引き継ぎます。

1. 議員定数・報酬について

町民との意見交換会や他市町村の取り組みを参考に、令和7年度中に議員定数と報酬に関する結論を出すこと。

2. 議会改革の推進体制について

議会改革の推進体制を整えることを目指し、議会改革推進会議の運営方法について検討を行うこと。

3. 政策提言の実現にむけて

政策提言書提出後の政策実現に向けて、フォローアップの仕組みを構築すること。

4. 住民との対話をもとにした課題の把握について

特定のテーマを設定したワークショップ形式の意見交換会を開催し、住民の意見を集め、課題を把握に努めること。

5. 政策サイクル実現に向けた議会運営について

議会活動計画および委員会活動計画を早期に作成し、効果的な施策実現を目指すこと。（予算、決算審議方法の検討を含む）

6. 能力向上に向けた取り組みについて

議員の専門知識と効果的な政策策定能力を高めるため、計画的な議員研修体制を構築すること。

7. 主権者意識の醸成に向けた取り組みについて

中、高校生に向けた主権者教育プログラムの実施や投票率向上に向けた活動を行うこと。

8. 災害時における議会機能維持に向けて

議会内の危機管理体制を構築し、事業継続計画（BCP）を策定すること。

8. おわりに

一概に議会改革と言っても課題は多く、取り組み方も様々で、どこから手を付けていけばよいかわからない状況にあった時に、議会評価モデル(現在は地方議会成熟度評価モデル)に出会いました。

Zoomを使ったオンライン研修会等を積極的に活用しながら理解を深め、全議員の了承を得て評価モデルを導入した時が、本格的な議会改革のスタートと言えると思います。

議会評価モデルにより浮き彫りとなった課題解決に向け、議会からの政策サイクルの作動とシステムの作動、論点の整理や意見のすり合わせに必要な「議員間討議」や住民との「対話」に必要なファシリテーション能力の習得など、議員力向上と政策サイクルに基づく議会活動に向けた様々な勉強会を開催してきました。

また議会基本条例に明記されながらも設置がなされていなかった議会改革推進会議の設置は、継続的な議会改革を推進していく上で、大きな起点となるものでした。

そして政策サイクルの実現に向け各常任委員会を分科会として取り組んだ「政策提言書」の作成は、これまでの監視機能に重点を置いていた議会にとって、議会からの政策サイクルという新たな議会価値を共有するきっかけになりました。

手探りの状態で始まった議会改革の取り組みでしたが、議会としての存在意義をその活動の中で確認しながら、各議員が認識を深め、協力しながら取り組んできたことが大きな成果だったと考えます。

しかしながら、まだまだその取り組みは一步を踏み出したばかりです。議会改革は終わりのない旅であり、議会は常に時代の変化に柔軟に対応しながら住民福祉の向上という大きな目標に向かって、変革していかなければなりません。

今後も議会改革の取り組みを継続し、新たな議会の形を追求することを誓うと共に、本町議会の議会改革に伴走いただきアドバイス、ご指導いただいた議会アドバイザーの青森大学佐藤淳教授と公益財団法人日本生産性本部の地方議会改革プロジェクトの皆様のご協力に深く感謝申し上げ、この報告書を締めくくります。

議会改革推進会議委員長 外山利章